

2025 年 10 月 10 日

各 位

「Project GJ」 × 「Gyan Blue」 IPFi プラットフォームの共同運営に関するお知らせ

当社は、Japanese Story Protocol※の思想に賛同し、IP ホルダーが自社 IP をブロックチェーン上にオンチェーン化することにより実現される新たな IPFi 構想の具現化に向けて、Project GJ とともに IPFi プラットフォームの共同運営に取り組むこととなりました。

※「Japanese Story Protocol」とは、物語（ストーリー）をオンチェーン化し、経済圏として展開する日本発の Web3 型プロトコルです。

なお、本取り組みは、2025 年 8 月 26 日付「[Web3 アセットを牽引する新プロジェクト「Project GJ」を本格始動](#)」にて既報のとおり、同日付で締結した基本合意書に基づくものであり、現時点では概要レベルでの合意となっております。詳細な業務提携契約については、今後両者間で協議を進めてまいります。当社は、IPFi 事業のコアパートナーとして、技術・IP・ミーム経済の側面から包括的に貢献してまいります。

当社が長期戦略として支援・保有する「GYAN BLUE (\$NYAN)」の IP も、当該プラットフォームのユースケース拡張に貢献すべく、今後多様な IP 群と共に順次導入してまいります。



1. IPFi とは？ - IP × Finance × Infrastructure

IPFi (Intellectual Property Finance Infrastructure) とは、知的財産 (IP) をブロックチェーン上にオンチェーン化し、NFT や独自トークンといったデジタル資産として価値付け・流通可能とする、新たな Web3 型プラットフォームです。

本プロジェクトは、従来のコンテンツビジネスでは困難であった IP の資産化・流動化・ユースケース拡張を可能にする「IP の金融インフラ化」というコンセプトに基づいて設計されています。

2. プラットフォーム体制と役割分担

IPFi プラットフォームは、Solana チェーン上にて開発・運営される予定であり、Project GJ と当社が、それぞれの専門性を活かして明確な役割分担のもと共同で推進してまいります。

なお、以下の役割分担は基本合意書に基づく概要レベルでの取決めであり、具体的な業務提携契約の締結には至っておりません。詳細な責任範囲・条件等については、今後の協議により決定してまいります。

- 開発・技術設計
 - Project GJ：プラットフォームの構築および技術運用の主導
 - 当社：技術支援およびプロダクトの事業実装面にて補完
- IP の導入とネットワーク構築
 - Project GJ：国内外の大手 IP ホルダーとのネットワークを活用し、主要 IP の参入を推進
 - 当社：独自で保有・連携する IP を順次 IPFi 上に導入し、ミームや NFT として展開
- マネタイズ戦略の設計・支援
 - 当社：主導を行い、IP ホルダー向けの NFT 化、トークン発行、収益化モデルの設計を担当
 - Project GJ：マネタイズと開発が連動するよう、技術面での最適化
- BtoB 営業とエコシステム拡大
 - 当社：BtoB 営業・アライアンス・販売チャネル拡大を推進
 - Project GJ：IP の世界観とプロダクトが自然に拡張できるよう、継続的にユースケース開発

このように、Project GJ が「開発・IP 注入の中核」を担い、当社が「IP 展開・マネタイズ・営業推進」を担当することで、IPFi 全体のエコシステムがバランス良く成長し、両社の収益機会最大化が図られる体制となっております。

3. 外貨収入の循環とミームトークンの連動構造

IPFi で創出された外貨建て収益は、IPFi が統括する流動性プール（Liquidity Pool : LP）に自動的に累積されます。

この LP 資産は、IPFi 上で展開される各種ミームトークン（例：\$NYAN など）に対する買い圧力として機能し、以下のような循環的価値を生み出します：

1. 当社が展開する Meme Factory 構想のユースケース拡張
2. \$NYAN 等、当社投資先ミームトークンの市場流動性向上
3. IPFi に登録する IP オーナーの新たな収益源の創出
4. 顧客資産のオンチェーン化による可視性向上と再活用

このストーリープロトコル構造により、IP・ファン・トークン・外貨が循環する Web3 経済圏が成立することを想定しております。

4. 今後の展望

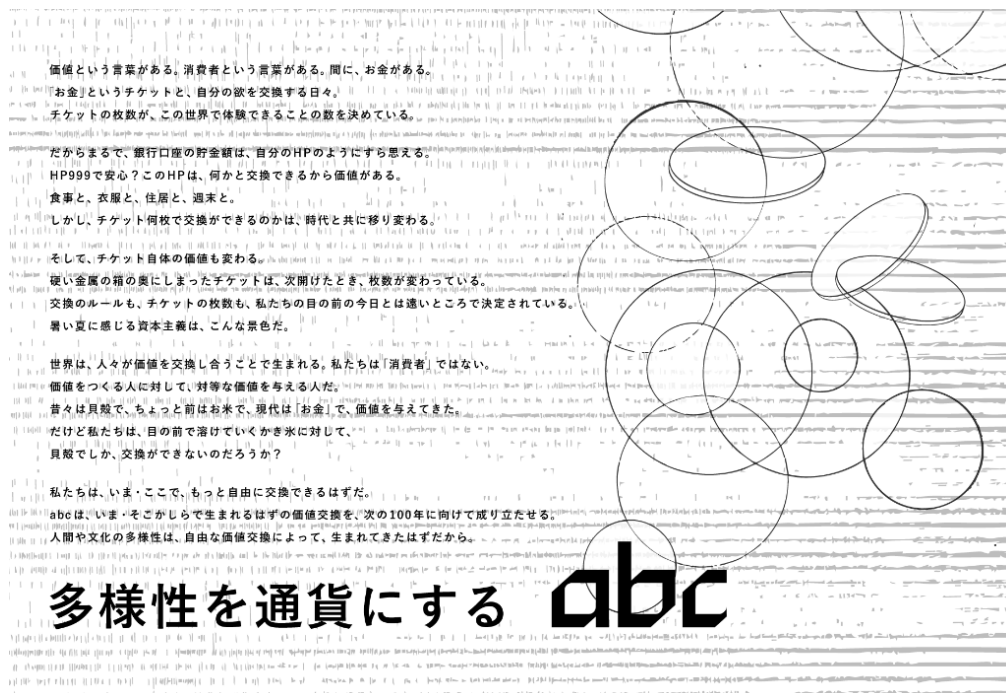
IPFi には既に複数の有力 IP が参加・提携を見込んでおり、当社が保有・連携する IP 群の合流により、IPFi は日本発のグローバル IP プロトコルとしての確固たる地位を目指してまいります。

当社は、IP の金融化と Web3 ユースケース実装の架け橋として、IP ホルダーと Web3 市場の双方にとって最適な環境構築を進めてまいります。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。



多様性を通貨にする abc

■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenizing by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上